

## 2. 北原浄水場

旧五日市町の人口増加により、給水量を増量するため、昭和39年(1964年)に建設され、同40年(1965年)4月に給水を開始しました。



## 3. 北原地蔵

昭和46年(1971年)6月に、御堂が改築されました。

北原地蔵のいわれは不明ですが、お嫁さんが居座りの良いように結婚式の時に、運び込まれました。



## 4. 宮尾城跡

別名滝尾ノ城と呼ばれており、三和中学校の裏に位置していました。築造の年代は不明ですが、利松孫右衛門の所居と伝えられています。



## 5. 法専寺

元は禅宗でしたが、永禄2年(1559年)に改宗しました。

寛永4年(1627年)に、本願寺より寺号を受け、現在の亀石山法専寺となりました。



## 6. 廻国塔

江戸時代中期に、利松村の智真という僧侶が、実誓浄真大徳をめざして日本全国を廻国巡礼し、無事に帰村した記念に建立されました。



## 7. 寺田井手

### (五日市用水路井堰)

八幡川は、氾濫が多いため17世紀半ば頃、竹之内〜皆賀間に付け替えをしました。

田に水を入れるため、五日市村の人たちは、川上の寺田村に井堰を作り、寺田・口和田・中須賀・寺地・利松・保井田の6村から土地を借り受けて溝を掘り、五日市村の長林寺に樋門(井手)を設けて灌漑用水に当てました。



## 8. 宝神社跡

延徳3年(1491年)に社殿を建立し、神家正平に守らせていました。

その後、旧深入城の清水口という所にあった清水大明神を合わせて、社号を宝大明神としました。

明治41年(1908年)に、一村一社の合祀に従って廃止されました。



## 9. 山入寺(さんにゅうじ)跡

建保年中(1213~1219年)に、寺田村にあった山入寺山の深入城の城主が建立した八幡宮を、城主が絶えたため、寺田村の六角山深入院に引き受け守られていました。

その後、深入院が改宗して六角山山入寺となりました。

現在も、山入寺跡の入口には、五輪塔が残っています。



## 10. 影面(かげとも)の道 (古代山陽道)

影面の道とは、古代山陽道の別称で日のある南向きの斜面に沿う道を指します。

古代は唯一の大路で、畿内から九州の大宰府まで結んでおり、安佐南区から石内地区を通り、八幡地区へとつながっていました。

